



アクリル星座板を作る参加者

星座板作りなど体験

文化会館
有明高専

合同イベントに32人

大牟田

大牟田文化会館（吉田勉夫館長）と有明工業高等専門学校（高橋薫校長）の合同イベントが25日、同館で開催された。アクリル星座板作りやプログラミングを通して、夜空の神秘やコンピューターの楽しさに触れた。

同館は文化と教育の連携により、創造性を育む機会をつくらうと、昨年末に同高専天文部と合同で星空観察会を開催。今回は2度目の合同イベントとなる。

小学生以上を対象とする午前の「アクリル星座板製作教室」には15人が参加。同高専の清水暁生講師と田中彰則准教授が指導し、天文部員や電気系統を学ぶ学生たちもアシスタントを務めた。

参加者はプラネタリウムで黄道十二星座の位置や形、成り立ちを学んだ後、星座板作りをスタート。アクリル板とLEDを使って星座を光らせるもので、参加者はハンディルーターを使い、星座の形に沿ってアクリル板に穴を開けていった。完成後は再びプラネタリウムに移動し、暗闇の中、星座板を点灯。青く浮かび上がる光に「きれい」と歓声を上げていた。

午後は小学校高学年から中学生までを対象とする「おもしろプログラミング教室」を開催。尋木信一准教授や学生らの指導を受け、17人が楽しみながらコンピューターの仕組みを学んだ。（河野 美緒）